

令和2年度のKPIの評価

令和2年度のKPIの実績値について、令和元年度の実績値や令和3年度の目標値と比較し、評価を行いました。

目標／施策		KPI	実績値		目標値		令和2年度の評価	
			R1	R2	R3	R7		
①目標：町ならではの仕事を育て、安心して働けるようにする		製造品出荷額等（億円）	9,042	-	10,780	11,000	-	<ul style="list-style-type: none"> ・「製造品出荷額等」と「製造業の事業所数」は工業統計調査の数値を引用しているが、令和3年は5年毎に実施している「経済センサス活動調査」の実施年のため調査を行っていない。結果が令和4年9月頃公表予定のため、現時点で令和2年度実績値を評価できない。 ・新規就農者数は、令和元年度と同様に1人増加しており、令和3年度の目標値に向け順調に推移している。 ・「年間商品販売額」は5年毎に実施する経済センサス活動調査の数値を使用しているが、結果が令和4年9月頃公表予定のため、現時点で令和2年度実績値を評価できない。
施策	1-1-① 製造業の育成・支援	製造業の事業所数（事業所）	85	-	81	85	-	
	1-1-② 農業の振興と高度化	新規就農者数（人）	1	1	1	5	○	
	1-1-③ 商業振興の支援	年間商品販売額（億円）	-	-	510	550	-	
②目標：多様な人の流れを育て、町の魅力を高める		定住人口（人）	42,292	42,497	42,980	44,700	○	<ul style="list-style-type: none"> ・定住人口は、令和元年度から約200人増加しており、令和3年度の目標値に向け概ね順調に推移している。 ・参加者数は、令和元年度と比べ大幅に減少している。 ※減少した要因は、新型コロナウイルス感染症対策として無観客で大風のみ「新春大風試し揚げ」を開催したため。 ・来場者数は、令和元年度から約20,000人増加しており、令和3年度の目標値に向け概ね順調に推移している。 ・来場者数は、令和元年度から14人微減した。
施策	2-1-① 観光の育成・支援及び関係人口の創出・拡大	凧揚げイベントの参加者数（人）	25,000	328	25,000	27,000	△	
		道の駅来場者数（産直・飲食来場者数）（人）	350,038	373,800	410,000	410,000	○	
		憩いの農園来場者数（人）	726,614	726,600	744,400	780,000	△	

【評価】◎：R3目標値を既に達成している、○：R3目標値に向けて概ね順調に推移している、△：R1実績値を下回る、-：実績値がなく評価できない

目標／施策		KPI	実績値		目標値		令和2年度の評価	
			R1	R2	R3	R7		
施策	2-1-② 交通ネットワークの 充実	幸田駅、三ヶ根駅、 相見駅の乗車客数 (人/日)	6,858	5,514	7,140	7,700	△	・乗車客数は、令和元年度から約 1,300 人減少している。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス感染症対策による外出の自粛が考えられる。
		町が実施する公共交通の 利用者数 (人)	33,698	25,557	34,460	36,000	△	・利用者数は、令和元年度から約 8,000 人減少している。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス感染症対策としてえこたんバスの乗車定員を半数程度に減らしたこと、利用者の利用自粛が考えられる。
	2-1-③ 定住環境の向上	アンケート「町に住み 続けたい」と思う人の割合 (%)	61.1 (H30)	59.2	63.0 (R4)	65.0 (R6)	△	・住み続けたいと思う人の割合は、平成 30 年度から 1.9%減少しており、平成 28 年度から減少傾向が続いている。
③目標：子どもを育て、みんなを元気にする		年少人口 (人)	7,079	7,067	7,170	7,420	△	・年少人口は、令和元年度とほぼ同数となっている。
施策	3-1-① 第3子が安心して産める 子育て支援	利用者支援事業の母子健康手帳の 交付件数 (件)	410	375	415	430	△	・交付件数は、令和元年度から 35 件減少している。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国的に妊娠を控える傾向がみられ、妊娠の届出件数が減少したと考えられる。 ^{注1}
		ファミリーサポートセンター 援助会員数 (人)	87	94	90	95	◎	・会員数は、令和元年度から 7 人増えており、令和 7 年度の目標値に向け順調に推移している。
		保育所等の 3 歳未満児の 受入人数 (人)	237	236	260	280	△	・受け入れ人数は、令和元年度とほぼ同数となっている。

注1：合計特殊出生率は幸田町 1.76 (H29) (出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」)
全国 1.36 (R1)、1.34 (R2 概数) (出典：厚生労働白書 (令和 2 年度版、令和 3 年度版))

【評価】◎：R3 目標値を既に達成している、○：R3 目標値に向けて概ね順調に推移している、△：R1 実績値を下回る、－：実績値がなく評価できない

目標／施策		KPI	実績値		目標値		令和2年度の評価	
			R1	R2	R3	R7		
施策	3-1-② 教育環境の育成・支援	スポーツ施設利用者数(小中学校体育館、勤労者体育センター、町民プール)(人)	222,746 「町民プール」なし	128,565 「町民プール」なし	356,000	360,000	△	・利用者数は、令和元年度から約94,000人減少している。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス感染症対策として休館や利用の自粛等をお願いしたことが考えられる。
		キッズサポーター養成講座受講者数(人)	66	268	110	200	◎	・受講者数は、令和元年度から約200人増加しており、既に令和7年度の目標値を達成している。 ※受講者数が大幅に増加した理由としては、令和元年度は1校で講座を実施したのに対し、令和2年度は普及に向けて3校で実施し取組件数を増やしたことによる。
	3-1-③ 医療環境の支援	各種健診受診者数(人)(妊婦健診、乳児健診、産婦健診、妊婦歯科健診、産婦歯科健診)	6,149	5,625	6,230	6,400	△	・受診者数は、令和元年度から約500人減少している。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、全国的に妊娠を控える傾向がみられ、これに伴い妊婦健診等の受診件数が減少したと考えられる。
④目標：つながる人と地域を育てる		刑法犯罪の発生件数(件)	209	150	200	190	◎	・発生件数は、令和元年度から59件減少し既に令和7年度の目標値を達成している。
施策	4-1-① コミュニティの活動支援	こんにちは赤ちゃん家庭訪問実施率(%)	94	97	96	100	◎	・実施率は、令和元年度から3%増加しており、令和7年度の目標値に向け順調に推移している。
		健康づくりボランティア数(人)	73	69	75	80	△	・ボランティア数は、令和元年度から4人減少している。
	4-1-② 高齢者・障がい者福祉の育成・支援	見守りネットワーク事業協力者数(人)	17	18	18	20	◎	・協力者数は、令和元年度から1名増加しており、令和3年度の目標値を既に達成している。
	4-2-① 自然環境の保全・活用	環境に関する講座等開催回数(回/年)	10	5	10	10	△	・開催回数は、令和元年度から5回減少している。 ※減少した要因は、新型コロナウイルス感染症拡大予防の観点から、開催回数を減少したため。

【評価】◎：R3 目標値を既に達成している、○：R3 目標値に向けて概ね順調に推移している、△：R1 実績値を下回る、－：実績値がなく評価できない

目標／施策		KPI	実績値		目標値		令和2年度の評価	
			R1	R2	R3	R7		
施策	4-2-① 自然環境の保全・活用	処理しなければなら ない1人あたりのご み排出量 (g/日)	539	558	530	510	△	・1人あたりのごみ排出量は、令和元年度か ら約20g/日増加している。
	4-3-① 歴史・文化の保存・ 継承	町指定文化財の件数 (件)	35	37	35	40	◎	・R3.2.22 付けで「扁額 六栗学校」、「深溝神 社本殿 附棟札5枚」の2点の文化財が町 指定となった。
	4-4-① 防災・防犯・交通安全 の強化	通学路交通安全プロ グラム対策実施件数 (件)	26 相談数 58 件 実施率 45%	16 相談数 41 件 実施率 39%	26	30	△	・実施件数は、令和元年度から約10件減少 している。 ※要因として、指摘のあった危険個所が少な かったことが挙げられる。
		防災啓発・普及活動 実施件数 (件)	40	47	45	50	◎	・実施件数は、令和元年度から約7件増加し ている。
	4-5-① なめらかなまちづくり	多世代交流施設の利 用者数 (人)	34,827	17,169	37,000	41,000	△	・利用者数は、令和元年度から約17,000人 減少している。 ※減少した要因として、4/13～5/31を休館 したことや開館時間を30分短縮(10:00～ 17:00⇒10:30～17:00)したこと、利用者 の利用自粛が考えられる。
⑤横断的な目標1： 多様な人材の活躍を推進 する		アンケート「多文化 共生の推進」施策に ついて、「やや満足+ 満足」の回答割合 (%)	10.3 (H30)	14.4	13.5 (R4)	15 (R6)	◎	・「やや満足+満足」の回答割合は、平成30 年度から4.1%増加している。
⑥横断的な目標2： 新しい時代の流れを力に する		IoT 推進の取組回数 (回/年)	14	7	16	20	△	・IoT 推進の取組回数は、令和元年度から7 回減少している。 ※減少した要因として、新型コロナウイルス 感染症の影響によりセミナー等が開催でき なかったことが挙げられる。

【評価】◎：R3 目標値を既に達成している、○：R3 目標値に向けて概ね順調に推移している、△：R1 実績値を下回る、－：実績値がなく評価できない

■令和2年度のKPI実績値の評価

令和2年度のKPI実績値は、R3目標値を既に達成している・概ね順調にしているものが合計11個（36.7%）である一方、令和元年度の実績値を下回るものは16個（53.3%）ある。コロナ禍の影響による指標も一部存在するものの、今後も継続して事業を推進する必要がある。

◎ (R3目標値を既に達成)	○ (R3目標値に向け順調に推移)	△ (R1実績値を下回る)	- (実績値がなく評価できない)	合計
8 (26.7%)	3 (10.0%)	16 (53.3%)	3 (10.0%)	30 (100.0%)

【評価】 ◎：R3目標値を既に達成している、○：R3目標値に向けて概ね順調に推移している、△：R1実績値を下回る、-：実績値がなく評価できない